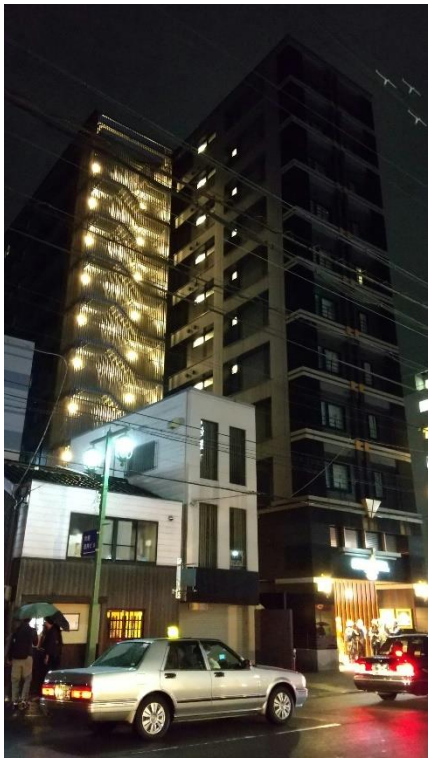
アパホテル　京都駅東

APA Hotel Kyoto Eki Higashi
（京都府京都市）



今回紹介するのは、京都駅前にあるアパホテル・京都駅東の風呂「玄要の湯」だ。アパホテルによれば、「玄要」とは禅の言葉で「決して強要することなくやさしく包み込む」という意味なのだそうだ。

アパホテル・京都駅東は、京都駅から徒歩５分以内。極めて便利な立地となっている。アパホテル・京都駅東の前には別のアパホテルもある。

風呂は 2 階。エレベーターを 2 階で降りると、風呂へつながる専用の階段があり、1 階に降りることになる。脱衣室の前には洗濯機と乾燥機が３セット、飲み物の自動販売機がある。

脱衣室には入口でカードキーをかざして入る。脱衣室の中にも洗濯機と乾燥機が 1 セットある。脱衣室にはコインのいらないロッカー、貴重品ロッカーがそれぞれ 24 個ある。アメニティーは充実しており、洗面台 4 個、ドライヤー、ティッシュ、ウェットティッシュ、綿棒、ハンドソープ、消毒液、ヘアリキッド、ヘアトニック、クレンジング、スキンローション、乳液、髭剃り、シェービングフォームがある。

浴室は石、タイル、竹等を組み合わせた内装で、落ち着いた高級感のある雰囲気だ。洗い場は 11 か所あり、隔壁がある。洗い場にはシャンプー、コンディショナー、ボディーソープ、シェービングフォームが具備されている。

浴槽は 3 つ。一番大きな浴槽は定員 8 人程度で、湯温はやや熱め。準天然・光明石温泉（人工温泉）が使われており、湯は無色透明。調べてみたら、光明石温泉は長原産業の製品で、神経痛、リウマチ、肩こり、腰痛、痔、冷え性、疲労回復に効果があるという。

他の 2 つの浴槽は露天風呂にある。露天風呂という名称ではあるが、屋外ではなく、天井があり、外も見えない。ガラリからひんやりした外気が導入されている程度である。手前にあるのが定員 1 人の壺風呂で、奥にあるのが定員 4 人程度の浴槽だ。壺風呂の湯温はぬるめで、壺は信楽焼が使われている。ラジウム鉱石が含まれているとのことだ。奥の浴槽は適温だった。

アパホテルに宿泊することはあまりなかったが、実に機能的に作られていると感じた。チェックインもチェックアウトもほぼ人を介さずに可能。また、2 人で 1 部屋利用する場合は、キーが 2 つ提供される。

確かに 2 つキーがないと、同時に風呂に行くことはできない。客室の中には巨大なテレビがあり、VOD が無料。湯沸器、茶の類、ドライヤー、髭剃り、歯ブラシ、石鹸類、冷蔵庫、スリッパ等必要なものはすべて整っている。ただ、部屋は非常に狭い。

また、1 階のカフェでは、ジェラートが名物のようだ。朝食時にジェラートが食べ放題である。ジェラートの種類は 10 種類程度ある。

京都は外国人であふれていた。日本はそれだけ魅力があるということか。その多くの外国人を迎え入れているホテル。アパホテルは、大浴場を備えるホテルだが、この大浴場を外国人はどう思い、どう利用しているのだろうか。取材しただけではそれは見えてこなかった。実は外国人には大浴場がほぼ使われていないのではないだろうか、と疑問を抱きつつ、京都を後にした。

DATA

名称	アパホテル　京都駅東
所在地	京都府京都市下京区東塩小路町 552-1
電話	0570-075-411
営業時間	6：00～10：00、15：00～26：00
定休日	無休
入浴料	宿泊者は無料
サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2023 年 10 月 14 日
取材	銭湯愛好会東京支部
最寄りのスキー場	なし